

企画展「かごしまの落葉樹」実施要項

1 趣旨

寒いときや乾燥したときなどに一斉に葉を落として厳しい環境に耐える樹木は落葉樹と呼ばれます。鹿児島県内では、標高の高いところに多く、落葉樹のなかには鹿児島県が南限地となっているものが多数あります。また、落葉樹の中には自然破壊が行われた場所などに生え成長の速い先駆植物と呼ばれるグループもあります。秋は多くの落葉樹が葉を落とす前に紅葉して冬の訪れを教えてください。鹿児島に生える落葉樹について生活や人との関わりなどについて紹介します。

2 主催

県立博物館

3 期間

平成26年10月4日(土)～11月30日(日)

休館日 休館日、整理点検日(10/6,7,14,20,27, 11/4,10,17,25,26)

4 場所

県立博物館1階企画展示室

5 関連行事

(1) 科学教室「霧島自然ウォッチング」

・日時：10月26日(日)10:00～12:00 えびの高原

紅葉に染まるえびの高原池巡りコースの動・植物・地質等について博物館学芸主事が解説

(2) 科学教室「殿様が愛した庭園探訪」

・日時：11月16日(日)10:00～12:00 仙巖園

キク香る仙巖園で周辺の自然や植栽された植物について博物館植物担当が庭園植物と人とのつながりなどととも落葉樹についても解説する。

(3) ミュージアムトーク

○ 10/4(土), 10/12(日), 11/15(土)

6 内容

1面 落葉樹って何だろう

① ごあんない

② 落葉樹の四季

春は芽吹き、夏は深い緑、秋は紅葉、冬は落葉する。

③ 落葉樹とは

環境の厳しい時期に葉を一斉に落とし環境がよくなると芽吹く樹木

寒冷 夏緑樹 ブナ ミズナラ カエデ等

乾燥 雨緑樹 アコウ フタバガキ

2面 どうして葉を落とすのか

④ 夏緑樹はどんなグループ

落葉樹林帯の落葉樹

人が増やした落葉樹

コナラ、クヌギ、クリ

寒冷期に南方に降りた落葉樹

先駆植物

⑤ なぜ葉を落とすのか

葉の表面から水分を蒸発させない。

体の老廃物を除去できる

⑥ 落葉樹の落葉・紅葉・黄葉のメカニズム

刺激→離層形成→紅葉、黄葉、褐葉→落葉→耐性芽(冬芽)→芽吹き→展葉→成葉

落葉時になぜ 紅葉・黄葉・褐葉 するか

3面 南限の落葉樹林

- ⑦ 落葉樹林帯の落葉樹
垂直分布 ブナ林, ミズナラ林, 風衝低木林
構成種 マンサク, タンナサワフタギ, ヨグソミネバリ, アカシデなど
- ⑧ ブナ林対決
南限のブナと北限のブナ
種組成 こんなに違う葉の大きさ (ミズナラ カシワ, ブナ)

4面 なるほどかごしま落葉樹の森

- ⑨ 落葉樹林の華麗な仲間たち 春の妖精
春植物 ミチノクフクジュソウ, ヤマシャクヤク, キツネノカミソリ,
⑩ ヒガンバナは落葉樹林帯の植物 → コラム
⑪ 河川沿いの落葉樹
ケヤキ, ハルニレ, ヤナギ林など

5面 南の島の希少な木々

- ⑫ 屋久島の落葉樹
ヒメシヤラ, ヤクシマサルスベリ, ナツツバキ, ミヤコダラ, ヤクシマオガラバナ,
ナナカマド, マルバヤマシグレ イイギリ
- ⑬ 屋久島になぜ南限の植物が多いか。
⑭ 屋久島になぜブナ, ミズナラ等がないのか
⑮ 寒冷期に下った奄美の落葉樹
ワダツミノキ, アマミカジカエデ, シマウリカエデ

6-7面 里山 実は落葉樹だらけの身近な森

- ⑯ 里山の多様なパイオニア
高木 センダン 低木クサギ, アオモジ,

8面 鹿児島は寒かった 植物化石が語るかごしまの気候

- ⑰ 古い時代の落葉樹-地史と落葉樹
植物化石 薩摩川内の植物化石
⑱ 落葉樹の性質 成長が速い (芽鱗痕で判読) サクラ類, カラスザンショウ

9面 落葉樹あつての動物

- ⑲ 落葉樹と動物
昆虫 エノキとオオムラサキ, ヤナギとコムラサキなど

10-11面 落葉樹が作る豊かな文化

- ⑳ 人と落葉樹
愛でる ウメ, サクラ, コブシ
遊ぶ キブシ, トカラアジサイ, ニワトコ
薬用 ニガキ, キハダ, タラノキ
新芽を食べる クサギ, タラノキ, ハリギリ, アカメガシワ, サンショウ
包む ホオノキ, アオギリ, カシワ
衣料 ビータナシ,
魚毒 エゴノキ, イヌザンショウ
用材 桐のタンス, クヌギ, コナラ
文化財 藤川天神, ノカイドウ, エドヒガン, 福山のイチョウ,
渋 カキ,
灯り ハゼノキ
危険木 ハゼノキ, カラスザンショウ,

12面 紅葉見所スポット

県内の紅葉スポットを写真, 地図で紹介

13面 かごしまの落葉樹は今

温暖化で追われるブナ
里山 伐採で増えるその後減少